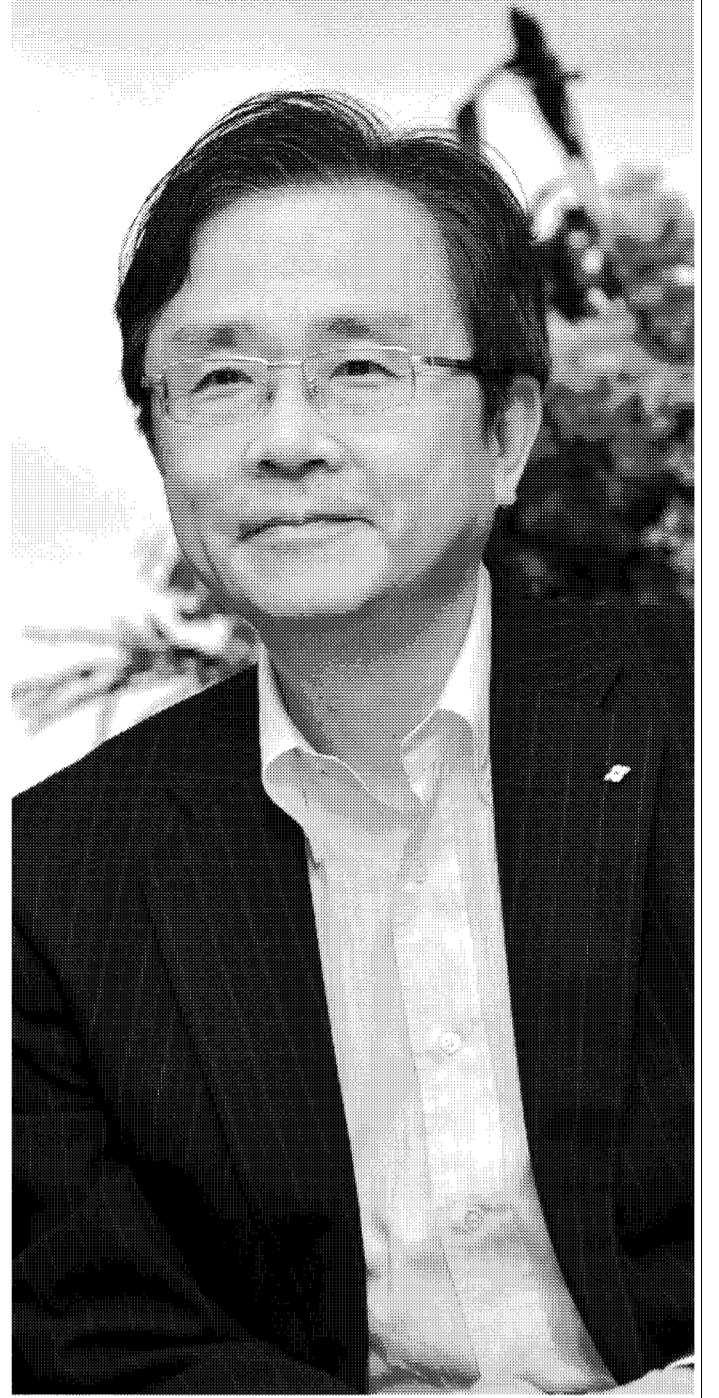


広告特集 企画・制作 朝日新聞社広告局

LEADERS AS READER

リーダーたちの本棚 VOL.29



住友生命保険 代表取締役社長

佐藤義雄さん

さとう よしお

変化に富む生命保険の今昔物語

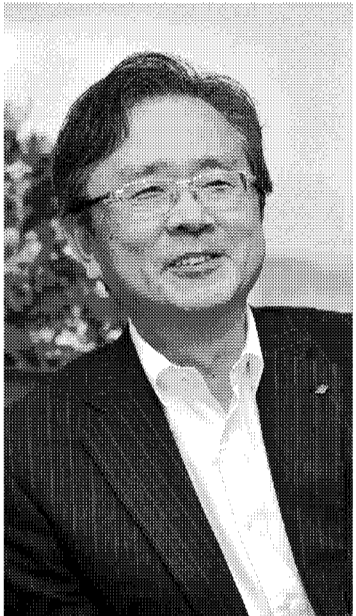
日本の生命保険は、福沢諭吉が欧州の近代保険制度を紹介したことに始まり、戦前は「徴兵保険」というものもありました。60年代に入ると、高度成長に乗って生保の普及が一気に進みます。私の祖母は、その頃に生保会社に入社し、大企業の家計の一端を担っていました。お客様に、「入っておいでよかったです」と感謝される仕事だと祖母から聞いていたと、

心に響いた先人の名文が生保一筋の仕事の支えに

私は、私の人生に少なからず影響しています。「物語(エピソード)で読み解くリスクと保険入門」は、祖母が働いた時代をはじめ、先に触れたような生保の歴史を伝えています。明治時代は「生命請合」と呼ばれ、「いくら出したら、命を返してくれますか?」という問いかけがあるほど国民の理解が浅かったと。生保会社が株式会社主流から相互会社主流になった背景には、戦争の痛手から速やかに立ち直るための企業戦略があったこと。いろいろな興味深い話があり、金融リスクの概念やリスクマネジメントの手法など、実用情報も充実しています。社員に推奨していますが、一般の

ブランド刷新の目的は、社内改革

6月1日に新たなコーポレートブランドを発表。当初は3ヶ月を予定していたが、東日本大震災の影響で延期となった。震災後は直ちに専用回線を開通し、日曜祝日もお客さま対応ができる体制を整備。また、被災支社への人員派遣、物資支援を行い、同時に迅速な支払いに向け、お客さまの不安を解消した。 「6月の段階でも発表をする方がいいのか考えました。ただ、営業職員の対応に励まされたという被災者の声や、この時期こそあなたの未来を強く守る」という新しい企業メッセージに込められた決意を全社で共有しなければならぬという思いもありました。 ブランド刷新において、イメージキャラクターに人気アイドルグループ「嵐」の相葉雅紀さんと女優の北川景子さんを起用



1949年福岡県生まれ。73年九州大学法学部卒業。同年住友生命保険入社。91年茨木支社長。93年新宿営業本部営業副部長兼新宿中央営業部長。94年新宿営業本部営業副部長兼第1営業部長。95年徳島支社長。98年株式会社運用部長。99年証券投資部長。00年本社総務部長。02年常務取締役常務執行役員。04年常務取締役常務執行役員兼運用事業部長。同年常務取締役常務執行役員。07年7月から現職。

「両親がそろえてくれた『世界少年少女文学全集』に親しんだり、叔父に『三國志』や『水滸伝』を読んでもらったり、いつも文学が傍らにありました。自然の流れで学生時代は本の虫、くわしい内容は忘れても頭ではな心に蓄積されたものがあるような気がします」と、佐藤義雄さん。住友生命保険の代表取締役社長に就任してこの7月で4年。6月に会見を開き、「あなたの未来を強く守る」というメッセージに象徴される新コーポレートブランド戦略を発表した。仕事の原動力という5冊をうかがった。

「耳の痛い忠告を聞き、思い通りにならない出来事を抱えてこそ人間は磨かれる」という意味です。私が初めて支社長職に就いた時、今は亡き新井正明名誉会長に、この心得こそ大事だと教えられました。以来座右の銘として、逆耳忠告がモットー。遠慮なく本音を言うのが支部長が話したいとやってくる。酒席も含めて7時間ほどつき合うことに(笑)。

「後世への最大遺産」は、著者の講話をまとめたもので、後世に残すべきものは「金」「事業」「思想」「勇ましい高尚な生涯」であり、最後の一つは最大遺産だと説いています。例えば、偉い文学者の残した本は偉いものだが、その人の生涯に比べた時は小さい遺産である。志を持って高尚な人生を歩み、なすということ。 「デンマルクの話」は、19世紀半ばプロイセン王国に敗戦し、貧窮の極

■朝日新聞社広告局ウェブサイトでは、佐藤義雄さんが語るリーダー論を紹介しています。 http://adv.asahi.com

佐藤義雄さんがすすめる5冊

Book recommendations section featuring titles like '後世への最大遺産', '菜根譚', '貞観政要', and 'リスクと保険入門'.

Large advertisement for '断捨離' (Decluttering) by 植西聰, including '20代の必読書!!' and '35刷 27万部!!'.